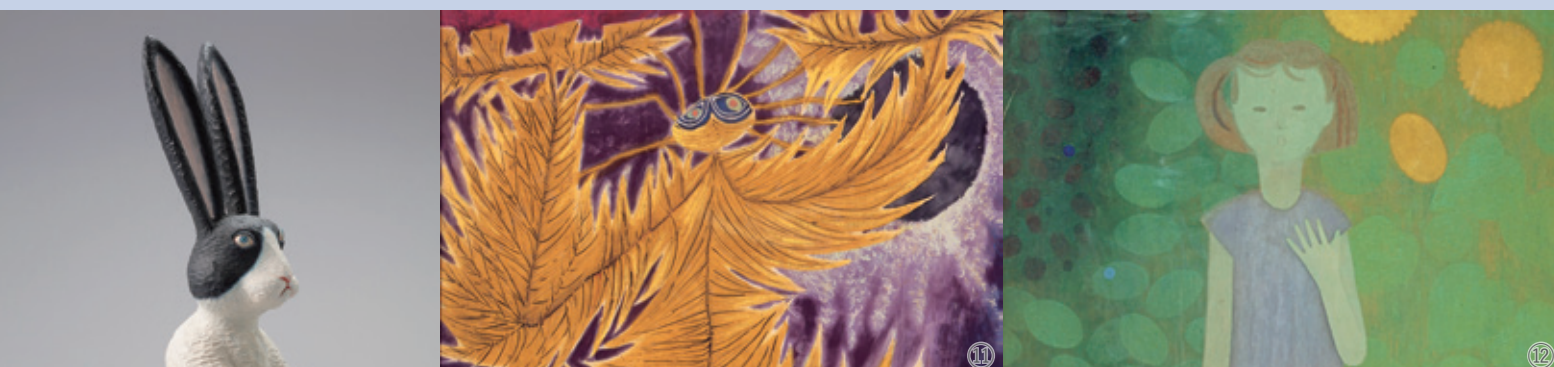


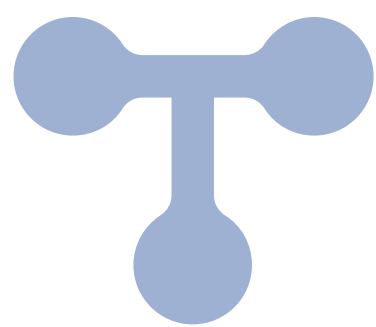


コレクション・展示

1階を美術展示室、2階を歴史展示室として、地域ゆかりの美術作品や歴史資料の収集・展示を進めていきます。また、1階展示室は市民ギャラリーとしてもご利用いただけます。なお、ここに掲載した作品や資料は、令和6年度に展示予定のものの一部です。



新しくなったロゴマーク



豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM of ART & HISTORY

リニューアルオープンにあたり、ロゴマークを一新しました。デザインを行ったのは、豊橋市出身・在住で、自然を主題とした美術やグラフィックを領域とする、味岡伸太郎氏です。3つの球体が結びつく形は、当館のめざす「つなぐミュージアム」を表現しています。

①自江戸至長崎東海道山陽道四国九州街道ノ図(部分) ②前掲大鑑 ③吉田城址出土桐紋鬼瓦 ④吉田宿伝馬朱印状 ⑤紋敷牡丹唐草角赤(部分・寄託)
⑥原田万久製煙草包装紙 入船十二号 ⑦馬越長火塚古墳出土棘葉形吉雲(国指定重要文化財) ⑧集履連磨図 長澤重雪筆(豊橋市指定文化財)
⑨三沢厚彦<Animal 2015-05> ⑩星野真吾<いがみあい>(部分) 1959 ⑪芥川紗織<天を突き上げるクノチ>(部分) 1955 ⑫中村正義<空華>(部分) 1951

TOYOHASHI CITY MUSEUM of
ART & HISTORY

豊橋市美術博物館

めざめの春
びはく”
いよいよ再始動



2024.3.1 Renewal Open

リニューアルイベント

3月1日(金)～4月7日(日) リニューアルオープン企画展「プルターニュの光と風」	
3月2日(土) 14:00 館長による館内ツアー(1F無料エリア) 14:30 「とよはしの歴史」学芸員リレートーク(2F展示室)	3月20日(水祝) 11:00 / 14:00 「光庭」へようこそ一手でみる彫刻(中庭) 定員/各回15名程度(先着順)
3月3日(日) 14:00～15:30 「プルターニュの光と風」記念講演会 千足伸行氏(同展監修者・広島県立美術館館長)	15:00～15:30 「プルターニュの光と風」コンサート アンサンブルクレール(女声合唱)
3月8日(金) 10:00 / 11:00 ★豊橋創造大学連携事業「スタンドアートシアター」 加藤克俊氏(豊橋創造大学短期大学部 准教授) 対象/未就学児と保護者 定員/各回15組30名程度	4月6日(土) 14:00 「とよはしの歴史」学芸員リレートーク(2F展示室) 13:00～14:00 「プルターニュの光と風」コンサート 豊橋交響楽団
3月10日(日) 13:30～15:30 ★「プルターニュの光と風」ワークショップ 内田新哉氏(イラストレーター)	★「びはく講座」 いずれも3月 9日(土)「発掘調査から読み解く吉田城の石垣」 16日(土)「プルターニュの文化と美術」 17日(日)「豊橋市の野球場」 24日(日)「遺物と歴史」 30日(土)「大正・昭和の陸軍と豊橋」 31日(日)「吉田藩主大河内松平家の歴史と文化」 担当/当館学芸員 時間/各14:00-15:00 料金/各100円(資料代) 定員/各50名
3月18日(月) 鑑賞プログラム「アトリップの実践と事例報告」 林容子氏(一般社団法人アーツアライブ代表理事) ①10:30 ★対話型アートプログラム アトリップ 対象/認知症の方や高齢者とその家族 定員/10名 ②14:00 ★講演会「アート×認知症×美術館」 対象/中学生以上 定員/30名	
お申込みについて ★印のイベントへのご参加には、事前申込みが必要です。2月6日(火)より、当館ホームページ(https://toyohashi-bihaku.jp/)または電話(0532-51-2882)でお申込みください。	



利用案内



<開館時間> 午前9時～午後5時
<休館日> 3月1日～4月7日は無休で開館。
以降は月曜休館。月曜と祝日が重なる場合、翌日が休館日となります。
<アクセス> JR・名鉄「豊橋」駅より市内電車乗車、「豊橋公園前」下車、北へ徒歩3分
〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL.0532-51-2882 FAX.0532-56-2123

つなぐミュージアム

- 人と時をつなぐ —— 地域文化を守り、活かし、継承する活動を行います
- 人と文化をつなぐ —— 文化・教育活動を推進し、豊かな社会の創造に努めます
- 人と人をつなぐ —— 文化の魅力を発信し、市民が誇れるまちづくりに参画します

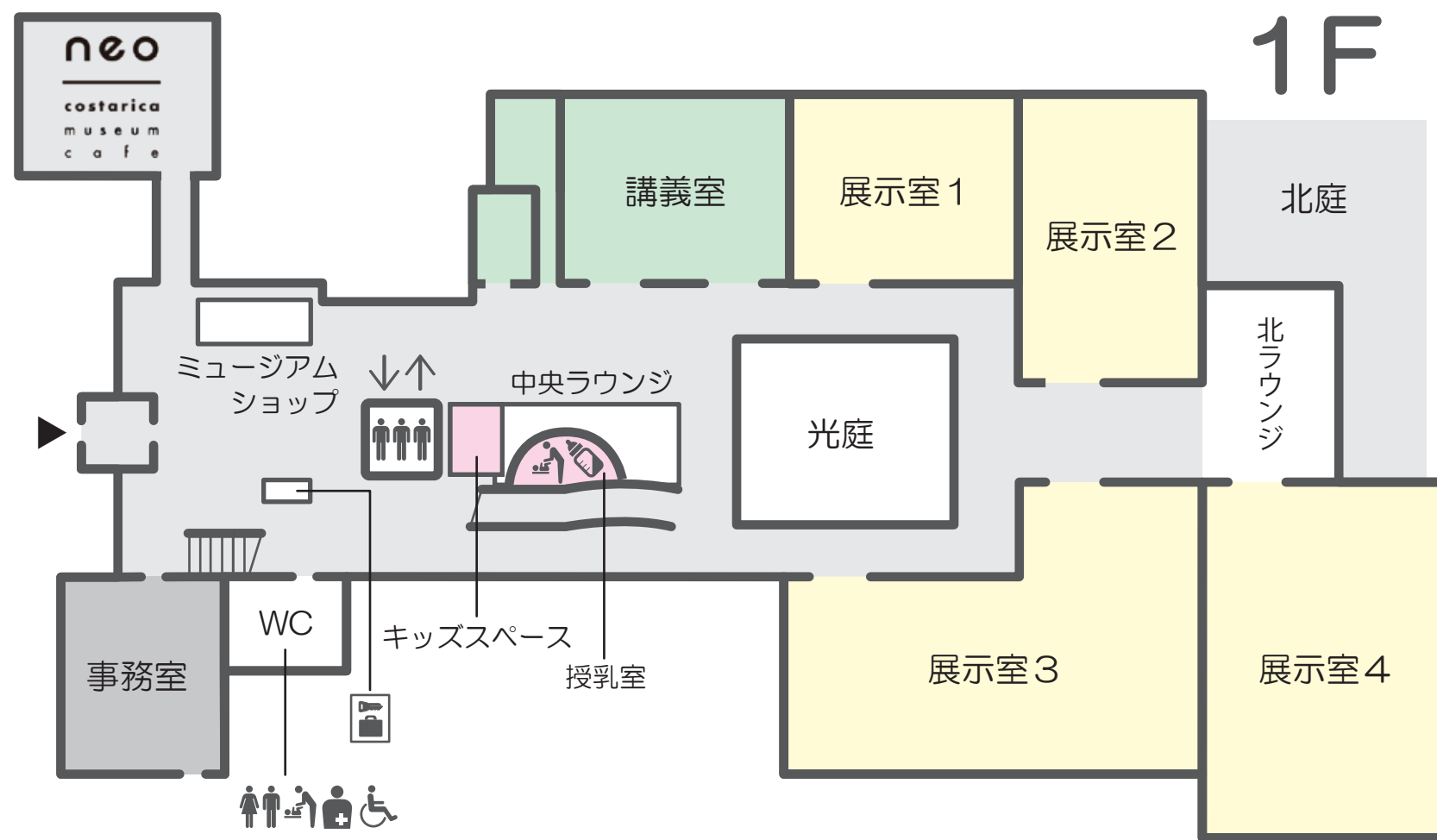
豊橋市美術博物館（愛称：びはく）は、1979年に吉田城址である豊橋公園内に開館し、2022年6月から老朽化による大規模改修工事を実施しました。1年9か月に及ぶ工事休館を経て、2024年3月1日にリニューアルオープンします。

改修工事では、空調設備や照明機器を最新のものに取り替えるなど資料の展示・保存環境の最適化を図ったほか、エレベーター、授乳室、キッズスペースなどを新設し、お客様の利便性を向上させました。また、館内の中庭が国島征二の彫刻作品による「光庭」（ひかりにわ）として生まれ変わったほか、地域の美術と歴史を核とする当館のコレクションを新たな展示構成によりご覧いただけます。

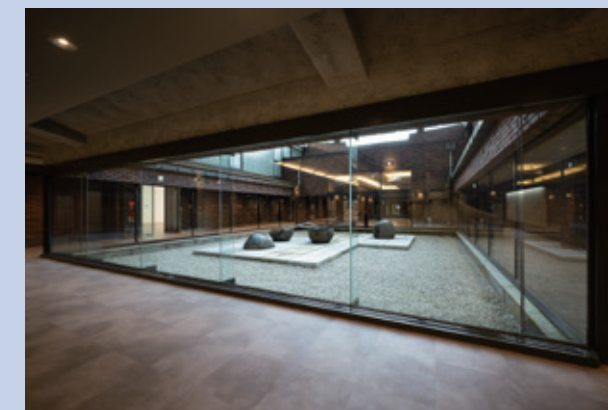
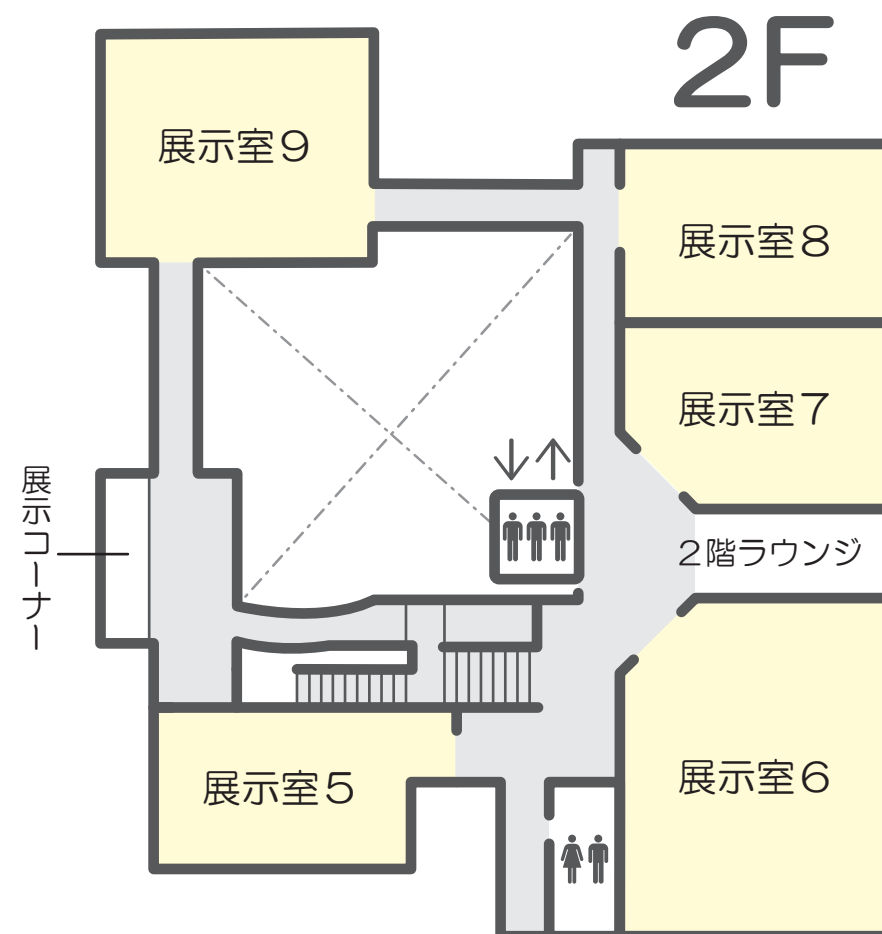
このたびの再始動にあたり、当館は、めざす姿として「つなぐミュージアム」を掲げ、3つの方向性に沿って博物館活動を進めていきます。そして、地域の文化拠点として人々の心を豊かに育み、人づくり・まちづくりに貢献する博物館をめざしてまいります。



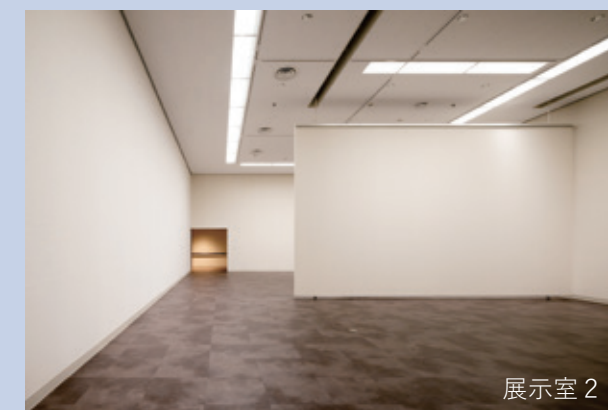
エントランス ——
エレベーターを設置し、車椅子やベビーカーも、館内をスムーズに移動できるようになりました。



延床面積
1階 …… 3,632.75 m²
2階 …… 1,759.39 m²
計 …… 5,392.14 m²



光庭 Hikari Niwa ——
国島征二の石彫を新たに設置。遺作となったこの空間を、作者は「光庭」と名付けました。



照明 ——
展示室や各展示ケースごとに、自在に調光を行うことができました。



自動扉
温湿度管理のために設置しました。



収蔵庫（非公開）
資料の保存環境が改善されました。



キッズスペース（イメージ）
お子さまと一緒に、ご来館ください。



授乳室
赤ちゃんと一緒に安心して。